



九州ブロック



発行人：支部長 秦 喜八郎
宮崎県医師会館

ニュースレター No.10 (2017.09)

九州支部の活動状況

九州支部では7月30日(日)に福岡県にて役員会を開催いたしました。今回より会議名称を「各県支部長会」から「九州支部役員会」と変更し、九州の本部理事にも御参加いただくこととなりました。

役員会では沖縄県より、昨年度九州支部総会・講習会の報告がなされ、今年度担当県の佐賀県より、プログラム案が説明されました。また来年度担当予定の長崎県からも開催日程等の説明がなされました。

事務局からは、平成28年度決算・平成29年度の予算案についての説明を行い承認されました。

またその他に、今年度の九州プライマリ・ケア功労賞の推薦について協議を行いました。推薦者については、今年度の総会・講習会時に表彰が行われる予定です。また、各県の活動状況等の報告がなされた後、本部理事からも御意見をいただき会議を終了いたしました。



【熊本県支部】

【報告】

- 1) 小澤竹俊先生熊本講演「安心して最期を迎える地域を目指すために」
～いのちに寄り添う～

開催日：平成29年7月21日(金) 時間：18時30分から20時

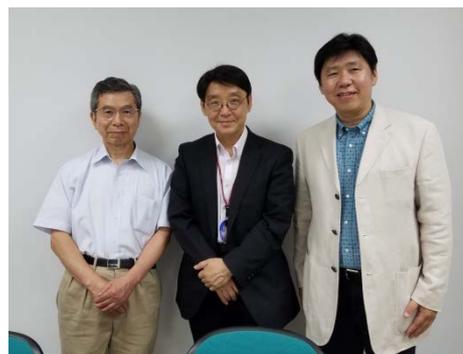
場所：アスパル富合

主催：(有)ヒューマンケア研修事業部

後援：熊本市、プライマリ・ケア連合学会熊本県支部 他

約300人の参加があった (写真は講師と県支部役員)

- 2) 熊本総合診療研究会では今回、会の規則・細則について確定した。



【予定】

第2回ハンズオン エコー熊本 講習会 ～ポケットエコーの有用性と活用～ 開催のご案内

日本プライマリ・ケア連合学会2単位(専門医・認定医更新のための生涯教育単位)

日本医師会生涯教育講座2単位

日本プライマリ・ケア連合学会・熊本県支部では標記講習会を下記のとおり開催する。

受付締め切りは8月31日(木)。定員20名程度。ポケットエコー新製品Vscan Extend 使用

1. 日時： 2017年9月09日(土曜)夜18:30～20:30、9月10日(日曜)朝09:30～11:30
2. 場所： 県民交流会館 パレア10F 8会議室
3. 講習費： 2000円

【講習・講義と実技】(120分)

演題： 在宅医療におけるポケットエコーの有用性と活用例

講師： 泰川 恵吾 先生 医療法人 鳥伝白川会 ドクターゴン診療所

【宮崎県支部】

宮崎県支部では本年度の総会・講習会を8月12日(土)に開催いたしました。

総会は各種報告・及び協議を行い、事業計画案・歳入歳出予算案について承認を得ました。総会終了後の講習会では、「地域包括ケアに係る宮崎県の取組について」をテーマに、宮崎県 医療・介護連携推進室 地域包括ケア推進担当の甲斐慎一郎主幹より、宮崎県の現状について御講演をいただきました。

また、その後に自分たちの地域で多職種連携研修会を仕掛けるコツ」をテーマに、宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座教授の吉村学先生に講演・グループワークを御進行いただきました。座長は宮崎県支部長の早稲田クリニックの早稲田芳男先生にお願いし、参加者56名で職種も多岐に渡り、盛会裡に終わりました。



【鹿児島県支部】

支部総会・講演会が2017年6月24日に鹿児島市で開催されました。特別講演は自治医科大学地域医療学センター長の松村 正巳教授の「診断のプロセスとエラー」で、臨床推論の面白さを存分に堪能できる内容で出席者から好評を得ました。この会から2年間の支部長 安部、事務局長 網谷の新体制がスタートしましたが、多くのJPCA 会員が参画する活発な支部会を作ることが課題と考えており、離島へき地の多い鹿児島では、地域医療を支える総合診療専門医育成を積極的に支援することも責務だと思っています。

また、離島医療問題を考える勉強会である「離島医療談義」は3年目となり、「離島医療と医療経済」をテーマにして7月15日に奄美市で開催され96名が参加しました(徳之島、沖永良部島、与論島のネット中継に20名参加)。名瀬保健所の四元 俊彦所長、大和診療所の小川 信所長の講演の後、南日本ヘルスリサーチラボの森田洋之代表の特別講演があり、「離島の持続可能な医療経済への提言」と題して、夕張市の財政破綻時における医療体制の立て直しの経験から学んだ地域医療の在り方について示唆に富む内容でした。翌日には「賢い患者学～住み続けられる島の医療」というテーマで、地域医療連携推進法人などについて市民公開講座を開催しました。いずれも好評で、今後が楽しみな勉強会に発展してきたことを感じます。



【沖縄県支部】

平成29年6月～8月の沖縄プライマリ・ケア研究会の活動報告

平成29年6月29日(木曜日) 沖縄県医師会館に於いて、第7回沖縄プライマリ・ケア研究会・総会を開催した。役員の変更が承認され、代表世話人に稲福徹也、世話人に本村和久と武村克哉、新たに6名の若手医師が加わり、合計16名の新体制で運営することになった。事業報告と決算及び監査報告、平成29年度事業計画と予算が承認された。今後の講習会(T&Aマイナーエマージェンシー)の状況、沖縄県医師会医学部総会の参加報告などがなされた。(文責 稲福徹也)